

MOBILE SUIT VARIATION **MSV**



Mobile Suit Variations Model Series

1/144 Gelgoog Cannon



<https://gunplastory.com/>



MS-14C GELGOOG CANNON

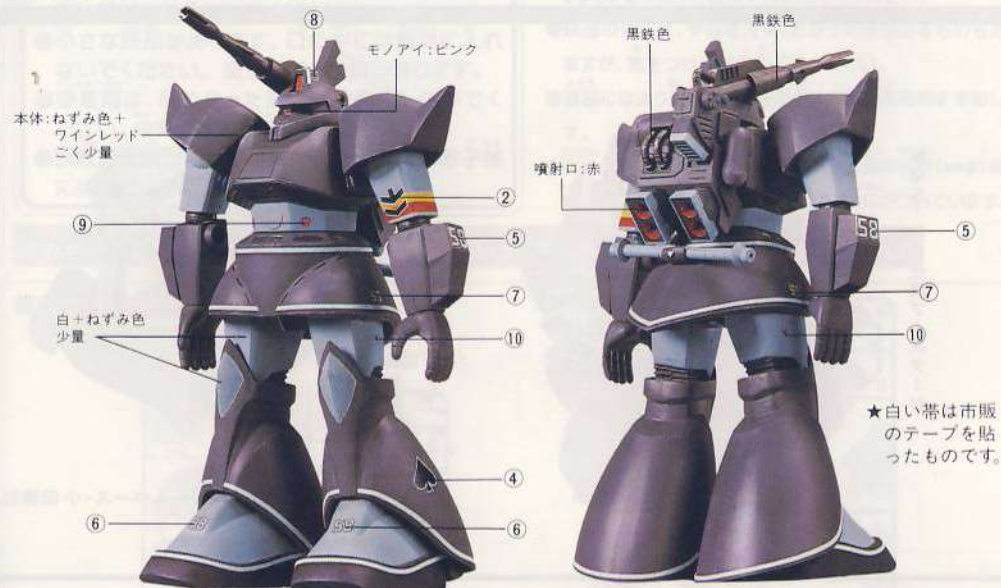
MOBILE SUIT GUNDAM/MOBILE SUIT VARIATION No.7 MS-14C GELGOOG CANNON



塗装 & マーキング

★⑧②などの数字はデカールの番号です。
★余ったマークは自由に貼ってください。

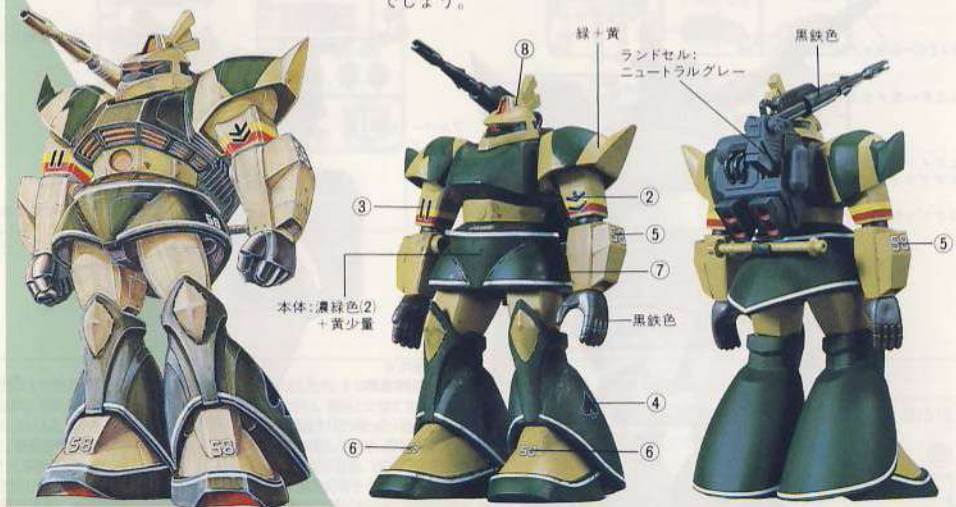
▼完成写真(エース部隊・一般塗装)



★白い帯は市販のテープを貼ったものです。

※[一般塗装](スプリンター迷彩)いずれかを選んで塗装してください。
■基本色は、ねずみ色にワインレッドをごく少量混ぜた色と、白にねずみ色を少量混ぜた色の2色です。各色にフラットベース(つや消し剤)を入れると良いでしょう。
■この塗装図は印刷物のため、指示の色と多少異なる場合があります。

▼エース部隊(スプリンター迷彩)



■基本色は、濃緑色(2)に黄色を少量混ぜた色と、緑に黄色を混ぜた色の2色です。各色にフラットベース(つや消し剤)を入れると良いでしょう。

デカールの貼り方

- ①デカールを貼る場所の、ほこりや汚れ、油気を、ぬらした布で良くふきとってください。
- ②貼りたいデカールをハサミで切りとり、ぬるま湯に5秒程つけてください。

- ③マークを台紙からずらしながら貼ってください。(ピンセットを利用するとよいでしょう。)
- ④やわらかく、水気をよく吸う布でマークをそっと押え水分をとります。
- ⑤貼ったあとは乾くまでさわらないようにしてください。

Scanned by Dalong.net

MOBILE SUIT VARIATION

MS-14C 機動戦士ガンダム GELGOOG CANNON

MS-14Cゲルググキャノン/解説書



1/144 SCALE モビルスーツバリエーション

BANDAI

MS-14C GELGOOG CANNON

■モビルスーツバリエーションNo.7
MS-14C ゲルググキャノン

MOBILE SUIT VARIATION

●MS-14Cゲルググキャノン

ジオン公国のMS技術は連邦を10年上回るとさえ言われたが、RXタイプMSの登場によって、その戦局は少しずつ返されていった。殊にジオンに驚異を与えたのは巡洋艦の主砲クラスのビーム砲を、モビルスーツが標準装備化していた事である。

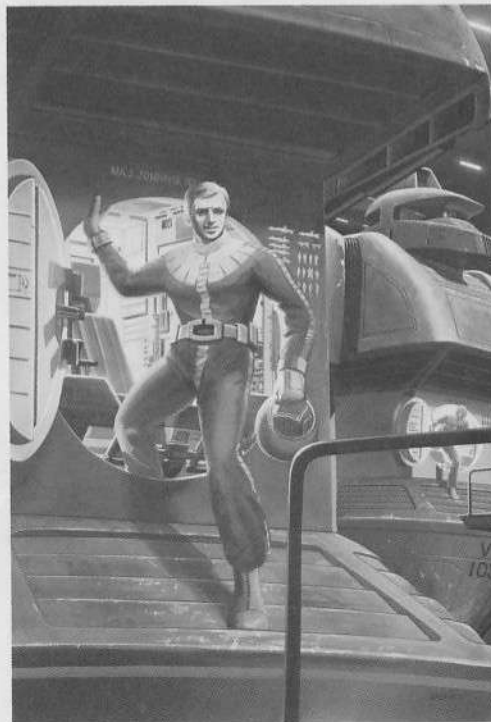
MS-06を継承する第2期主力MSは、ジオン国内で設計がすすめられたが、宇宙戦での急場しのぎには、MS-09の改造型、MS-R09通称リックドムが採用された。競争者であったMS-06R2は、結局のところ総合性能にやぶれたが、主力MSとして開発中だったMS-11の基本は、このMS-06R2から得たデータによる物だったのである。

さてMS-11の目差す性能とはどんなものであったか。連邦軍のRXタイプに見る機能を踏襲する所が実に大きい物であった。第一の目標は、ビーム兵器の標準装備化であった。これにはさすがのジオン公国も多大な時間を奪われており、機体完成より約3カ月も遅れている。ビーム兵器実用化(MS用)の見通しが立った時点で、ジオンのモビルスーツ戦コンセプトは完全に連邦化する。ここで競争相手として現われた白兵戦用MS-15(仮ナンバー)と比較して形状こそジオン公国と判断できるものの、運用はほぼガンダムタイプと同じであった。

第2の特徴は、装甲の分離構想で、第2期以降のMS戦がより白兵戦化してゆくのがわかる。MS-11は他の宇宙戦用特殊MSにナンバーを移すため、MS-14と名称を変更された。と同時に計画が進められたのは、ニュータイプパイロットの明確化に伴う、エース部隊の編成があった。これも実に連邦の実例に負う所が大きい。少数精鋭によって敵MS部隊を撃破する構想はまもなく具現化された。MS-14の初期生産型24機にはパイロットに応じたチューニングが施され、増速用ブースターと、ビームキャノンパックが用意された。ここにはビームキャノン装備機としてメインカメラも改造したMS-14Cと呼ばれる物である。しかしながら先例としてシャア=アズナブル大佐に渡ったYMS-14から、わずかの時間の出来事であったため、決戦に備えて待機していたパイロット達は、ア・バオア・クーの攻防ですぐに戦闘に入らねばならなかったのは実に惜しい事であった。決戦に対して集められたパイロットは古参も含めて31名を数え、その中にはライデン少佐、トーマス=クルツ中尉、J=サカイ大尉もいた。

MS-14はMS-15を退ぞけて正式機として採用されたが、宇宙空間戦だけでなく、地上戦も考慮して作られていた。そのため大気圏内の機動性を考えて両腕にはジェットエンジン(補助推進機)を備えていた。また一部部隊にのみ用意されたMS-14Cも同様に地上戦に使う予定も存在していたのである。

結局のところビームキャノンを装備したゲルググは15機にとどまり、総生産機738機中、それ以後に122機分が用意されつつあったにも関わらず、終戦を迎えるに至った。その裏づけとなるMS-14Cの性能はすこぶる良好で、最大兵装時には360ミリロケット砲2機を持つ事も可能であった。その事からCタイプには一般用の生産も見込まれたが、時すでに遅かったのである。MS-14Cの塗装は初期生産型24機中で、特殊部隊に配備された物が正式塗装で、全体的にザクを継承するグリーンでまとめられていた。



▶MS-14B仕様ブースター付



▶MS-14Cパーソナルマーク



■解説/ストリームベース・小田雅弘

■MS-14C ゲルググキャノン/各部の名称



注意

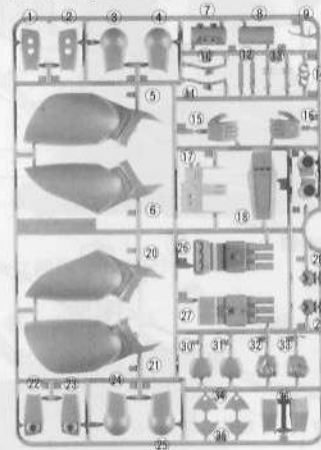
必ずお読みください

- とがった部品がありますので、8才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 接着剤は、閉めきった室内では使用しないでください。中毒になる危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

このキットには、接着剤が入っておりません。プラスチックモデル専用接着剤を別にお買い求めください。

PART LIST

[使用材質]<成形品>(スチロール樹脂:PS)



■デカール(マーク).....1

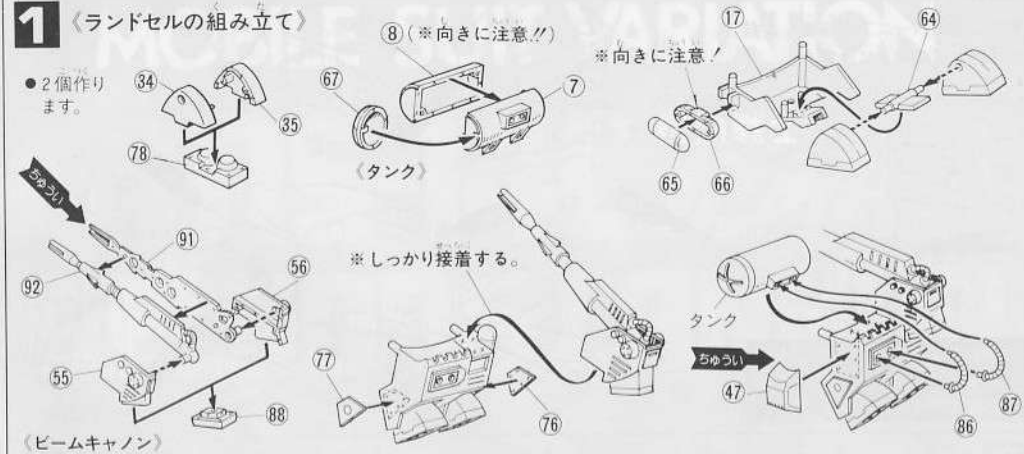
《組み立てる時の注意》

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
- 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---→)は接着しないところです。

※図中実線の矢印(→)は接着するところ、点線の矢印(---→)は接着しないところです。

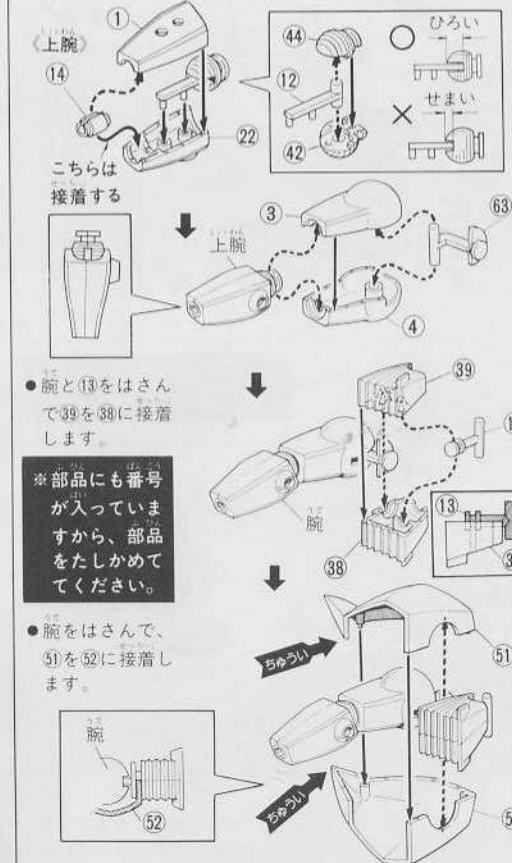
1 《ランドセルの組み立て》

- 2個作ります。



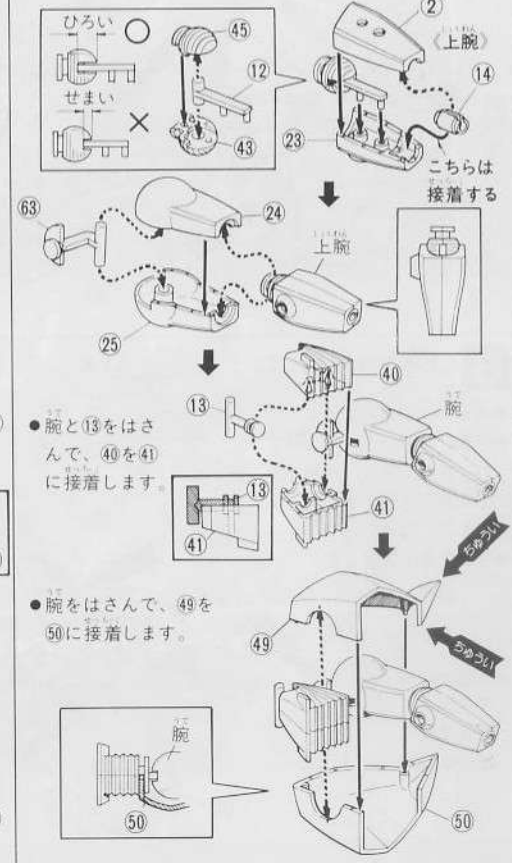
2 《右腕の組み立て》

- 先に12をはさんで44を42に接着します。
- ※各部品の向きをよくたしかめてから組み立ててください。



3 《左腕の組み立て》

- 先に12をはさんで、45を43に接着します。
- ※各部品の向きをよくたしかめてから組み立ててください。



《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした時は部品適価をご利用ください。代金は、部品代(切り取った1個40円×個数)+郵送料(120円)です。商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご購入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 (株)バンダイ 静岡相談センター
〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12 TEL054-208-7520

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード 01312

機動戦士ガンダム MSV
1/144 ゲルググキャノン

必要な部品の記号・番号・数量を書く

●注文された理由(○で囲む)(こわれた・なくした)

日中ご連絡可能な電話番号

R1001312 () '83.06

5 《右足の組み立て》

6 《上半身の組み立て》

★⑨は中隊長
のゲルググ
を作る時に
使います。

※⑬は上下の向きに注意!!

※凸がある方が
上になります。

かんせいぞ
《奥成図》

※腕は左右形が似ていますが
まちがえないでください。

※73の内側にあることを
たしかめてください。

7 《下半身の組み立て》

●先に⑧⑩にバーニアを接着します。

●両足をはさんで⑧1を⑧0に接着します。

《バーニア》

8

●上半身に下半身を横向きに合わせ、右へ90°まわします。

9 《ビームソードの組み立て》

★ビームソードは片手で持った状態と両手で持った状態のいずれか選んで組み立ててください。
〔下の完成図をよく見てください。〕

《片手で持った状態》

を残
取る

《両手で持った状態》

※ここを残して切り取る

《完成》 ●腕に取り付ける部品は、どれか選んで取り付けてください。

★⑮か⑮を
取り付け
る。

《^{ただ}ビームソードを^し片手で持った^{しうたい}状態

- ロケットランチャーが③6のいずれかを
取り付けてください。

《^{ツインハンド}ビームソードを^{ツウテ}両手で持った^{シチュエーション}状態》

ロケットランチャー

③④と③⑤